



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月13日

上場会社名 ユニプレス株式会社 上場取引所 東
コード番号 5949 URL <https://www.unipres.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)浦西 信哉
問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)斉藤 直樹 (TEL) (045)470-8631
四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	218,591	23.3	△3,599	—	△2,190	—	△2,040	—
2022年3月期第3四半期	177,331	13.0	△11,973	—	△10,198	—	△10,908	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 18,952百万円 (—%) 2022年3月期第3四半期 △3,236百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△45.80	—
2022年3月期第3四半期	△242.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	324,463	152,954	42.1
2022年3月期	302,585	135,875	40.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 136,502百万円 2022年3月期 122,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	10.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	5.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	301,000	18.3	500	—	1,800	—	500	—	11.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	47,991,873株	2022年3月期	47,991,873株
2023年3月期3Q	3,525,165株	2022年3月期	3,020,693株
2023年3月期3Q	44,560,669株	2022年3月期3Q	44,971,336株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は、半導体の世界的な供給不足による得意先の減産の影響は残っているものの、為替影響による増加があったことにより、売上高は2,185億円（前年同期比412億円増、23.3%増）、営業利益は35億円の損失（前年同期は119億円の損失）、経常利益は21億円の損失（前年同期は101億円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億円の損失（前年同期は109億円の損失）となりました。

なお、今後の生産状況につきましては、半導体供給不足やCOVID-19の影響が依然不透明な状況はあるものの、新車部品立上げとその量産効果が期待されており、当社グループの販売状況の更なる回復が見込まれております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

得意先の増産影響等により売上高は692億円（前年同期比196億円増、39.5%増）となったものの、セグメント損益（営業損益）は新車部品立上げ準備費用等の負担があったこと等により24億円の損失（前年同期は54億円の損失）となりました。

② 米州

為替影響等により、売上高は594億円（前年同期比100億円増、20.2%増）となり、セグメント損益は合理化効果等により4億円の損失（前年同期は34億円の損失）となりました。

③ 欧州

為替影響等により、売上高は296億円（前年同期比50億円増、20.4%増）となり、セグメント損益は合理化効果等により14億円の損失（前年同期は33億円の損失）となりました。

④ アジア

得意先の減産影響はあったものの為替影響等により、売上高は601億円（前年同期比66億円増、12.3%増）となり、セグメント損益は8億円の利益（同1億円減、11.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が182億円、棚卸資産が11億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ218億円増の3,244億円となりました。

負債につきましては、長短借入金が9億円減少したものの、支払手形及び買掛金が21億円、その他流動負債が54億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ47億円増の1,715億円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと及び配当金の支払い等により利益剰余金が29億円減少したものの、為替換算調整勘定が169億円、非支配株主持分が33億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ170億円増の1,529億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.5ポイントプラスの42.1%となりました。

資金の状況につきましては、営業活動から得られるキャッシュ・フロー、資金調達手段、流動比率の水準に基づき、当社グループは、将来の債務履行のための手段を十分に確保しているものと考えております。

当社は、当第3四半期連結会計期間末現在、資金の流動性を確保するため、シンジケーション方式のコミットメントライン契約による銀行融資枠及び当座貸越契約による銀行融資枠を574億円設定しており、その未使用枠は267億円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年11月10日に公表いたしました予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,798	49,023
受取手形及び売掛金	51,410	50,727
棚卸資産	28,463	29,566
その他	14,401	15,662
貸倒引当金	△0	△191
流動資産合計	125,073	144,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,559	42,127
機械装置及び運搬具（純額）	66,021	72,368
土地	7,391	8,116
建設仮勘定	22,555	11,915
その他（純額）	13,231	13,073
有形固定資産合計	149,759	147,601
無形固定資産	6,172	6,730
投資その他の資産		
投資有価証券	7,219	7,964
その他	14,365	17,383
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	21,579	25,343
固定資産合計	177,512	179,675
資産合計	302,585	324,463
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,344	41,543
電子記録債務	2,469	2,956
短期借入金	51,349	61,974
未払法人税等	903	593
賞与引当金	2,650	1,632
訴訟損失引当金	94	62
その他の引当金	78	71
その他	17,642	23,079
流動負債合計	114,533	131,913
固定負債		
長期借入金	34,524	22,957
関係会社整理損失引当金	1,569	1,411
その他の引当金	145	157
退職給付に係る負債	6,188	6,124
その他	9,749	8,944
固定負債合計	52,177	39,595
負債合計	166,710	171,509

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,168	10,168
資本剰余金	13,457	13,398
利益剰余金	108,380	105,444
自己株式	△5,023	△5,398
株主資本合計	126,983	123,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	978	1,067
為替換算調整勘定	△2,066	14,837
退職給付に係る調整累計額	△3,073	△3,016
その他の包括利益累計額合計	△4,161	12,889
非支配株主持分	13,052	16,451
純資産合計	135,875	152,954
負債純資産合計	302,585	324,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	177,331	218,591
売上原価	170,986	202,903
売上総利益	6,344	15,688
販売費及び一般管理費	18,317	19,287
営業損失(△)	△11,973	△3,599
営業外収益		
受取利息	384	1,051
受取配当金	69	148
為替差益	322	181
持分法による投資利益	—	122
受取賃貸料	333	387
補助金収入	1,488	626
関係会社整理損失引当金戻入額	48	157
その他	255	437
営業外収益合計	2,902	3,112
営業外費用		
支払利息	644	1,189
貸与資産減価償却費	275	289
持分法による投資損失	39	—
その他	168	225
営業外費用合計	1,128	1,704
経常損失(△)	△10,198	△2,190
特別利益		
固定資産売却益	35	48
投資有価証券売却益	—	10
減損損失戻入益	—	164
特別利益合計	35	223
特別損失		
固定資産処分損	194	49
訴訟関連損失	—	15
特別損失合計	194	64
税金等調整前四半期純損失(△)	△10,358	△2,032
法人税等	92	△590
四半期純損失(△)	△10,451	△1,442
非支配株主に帰属する四半期純利益	457	598
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,908	△2,040

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純損失(△)	△10,451	△1,442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	84
為替換算調整勘定	7,204	19,972
退職給付に係る調整額	△5	58
持分法適用会社に対する持分相当額	23	280
その他の包括利益合計	7,214	20,395
四半期包括利益	△3,236	18,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,223	15,009
非支配株主に係る四半期包括利益	986	3,943

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式585,200株を取得し、また譲渡制限付株式報酬として自己株式80,888株の処分を行いました。この取得及び処分等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が375百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末の自己株式は5,398百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(米国会計基準ASU第2016-02号「リース」の適用)

米国連結子会社において、第1四半期連結会計期間より、米国会計基準ASU第2016-02号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	49,662	49,456	24,650	53,562	177,331	—	177,331
セグメント間の内部売上 高又は振替高	20,774	14	1	746	21,536	△21,536	—
計	70,436	49,470	24,651	54,308	198,867	△21,536	177,331
セグメント利益又は損失 (△)	△5,459	△3,469	△3,381	1,013	△11,296	△676	△11,973

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△676百万円は、のれんの償却額△98百万円及びセグメント間取引消去△578百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	69,281	59,469	29,672	60,167	218,591	—	218,591
セグメント間の内部売上 高又は振替高	9,178	12	4	529	9,724	△9,724	—
計	78,459	59,482	29,676	60,697	228,315	△9,724	218,591
セグメント利益又は損失 (△)	△2,456	△415	△1,460	892	△3,439	△159	△3,599

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△159百万円は、のれんの償却額△103百万円及びセグメント間取引消去△56百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。